

2011.4.28

日本アプライド・セラピューティクス学会会員の皆様へ

「疾患毎の SOAP マスターファイル」作成作業にご参加下さい  
-ワーキンググループへのご参加のお願い-

「疾患毎の SOAP マスターファイル」作成ワーキンググループ  
代表 緒方宏泰

### 提案の趣旨

日本アプライド・セラピューティクス学会では、薬剤師が薬物治療にアクセスし、科学的・合理的に薬物治療を実践するためには、その基礎力の獲得が必要であると考え、「薬剤師が薬物治療にアクセスするためのワークショップ」を2009年、2010年に開催してきました。

本ワークショップのうち、科学的・合理的に薬物治療を実践するためのワークショップ・症例解析コースでは、薬物治療に必要な知識の整理及び適用方法を学ぶことを目的としました。昨今の薬物治療に関する情報は莫大であり、かつ新薬は毎年上市され、治療ガイドラインなども頻繁にアップデートされています。このような状況において適切な薬物治療を即応的に進めるためには、膨大な情報や知識を系統的に整理、理解し、記憶することが必要となっています。そのため、我が国に於ける当該疾患の治療ガイドラインをベースに、疾患に関する基本的な情報や知識とその量を SOAP 形式で A4 一枚にまとめる作業を行い（SOAP マスターファイルの作成）、その知識を全て頭に入れた後に、参考資料などは手元には置かない状態で、それらの基本的知識の適用として症例解析を行うことが実践的な立場からは重要と考えました。臨床の場では、テキストブックや文献を持って活動できず、即、判断をしていかなければならないからです。

薬学 6 年制教育の中では、従来の 4 年制教育に比べれば、大幅に、薬物治療に関連した教育は強化されて来ており、SOAP マスターファイルの作成の要求度は相対的に小さいかも知れませんが、既に薬剤師として活動されている方々

の場合には、薬物治療の系統的な教育を受ける機会が少なく、SOAP マスターファイル作成の要求度は高いと考えます。

薬物治療に薬剤師が取り組む条件づくりとして、2009年に、SOAPマスターファイルの作成を呼び掛け、その成果をホームページに公表し、蓄積していく方針を示しました。しかし、残念なことに、この2年間で、ワークショップの参加者により作成された2疾患（高血圧症、市中肺炎）のSOAPマスターファイルしか蓄積されていないのが現状です。

## ご提案

そこで、この様な状況を急速に改善するために、会員の皆様のご協力によって、集団作業によって、この1年間で主要な疾患、55疾患のSOAPマスターファイルを作り上げることを提案させていただきます。検討対象とする疾患は、主要な疾患であること、我が国において薬物治療のガイドラインが策定されていることを条件として、以下の疾患を挙げさせていただきました。（表 検討対象疾患）

## 作業に加わっていただける方を募ります

応えていただいた方々の中で、希望を中心に担当していただく疾患を決めます。それぞれ、手を挙げていただいた先生の個人的な取り組みでも勿論結構ですが、大学の教員の先生では、学生を巻き込んだ取り組みによって作成を受け持っていただくことも期待いたします。また、病院、薬局の薬剤師の先生にも、グループ学習の一環として職場、地域その他、色々なグループで取り組んでいただくことも期待いたします。ですから、作業に加わっていただく方は会員に限定しません。

このようにして作っていただいた「疾患毎のSOAPマスターファイル」原案を集約し、次に、その内容の確認作業、ブラッシュアップを行いたいと思います。このようなステップを経て、学会として、「疾患毎のSOAPマスターファイル」を、1年後には完成させ、公開し、学習に使っていただきたいと思っております。

「疾患毎のSOAPマスターファイル」作成ワーキンググループ参加のお申

## し込み法

ワーキンググループに参加を希望される方、グループは、添付の用紙に氏名（代表者氏名）、希望される疾患名を記入後、メールで緒方までお送り下さい。

可能であれば、複数の疾患をご担当ください。同一疾患の SOAP マスターファイル原案を複数の個人・グループに作成していただき、その後のブラッシュアップが総合的に行えるようにしたいと考えています。

尚、対象とする疾患を 55 疾患、原案として挙げましたが、更に加えて作成したい疾患名がございましたら、添付した表中に書き入れてください。また、疾患名でカバーする範囲が広すぎると考えられた場合には、細分化していただいで結構です。

**締め切り：6月10日（金）**

アドレス：hi-ogata@wa2.so-net.ne.jp

## ワーキンググループ打合せ

**開催日時：2011年6月12日（日）午後5時—5時30分**

**場所：明治薬科大学フロネシス**

ワーキンググループで行う作業の概要を説明します

## SOAP マスターファイルの作成のための説明会

応募していただいた方を中心として、SOAP マスターファイル作成の視点や方法を学ぶための演習を含めた説明会を以下の予定で開催する予定にしております。詳細が決まり次第、お知らせいたします。

**開催日時：2011年7月31日（日）午前10時—午後5時**

**場所：明治薬科大学**

参加を希望される方は、メールで緒方までお送り下さい。

**締め切り：7月3日（日）**

アドレス：hi-ogata@wa2.so-net.ne.jp

## 表 検討対象疾患

高血圧症（作成済）、市中肺炎（作成済）

心不全、心筋梗塞、狭心症、静脈血栓塞栓症、心房細動、感染性心内膜炎、脂質異常症、2型糖尿病、甲状腺機能亢進症、高尿酸血症、胃潰瘍、潰瘍性大腸炎、膵炎、胆石症、成人気管支喘息、小児気管支喘息、COPD、胃がん、食道がん、大腸がん、乳がん、肺がん、卵巣がん、子宮がん、前立腺がん、白血病、（抗がん剤による）悪心嘔吐、がん性疼痛、慢性腎不全、ネフローゼ症候群、関節リウマチ、SLE、院内肺炎、細菌性髄膜炎、尿路感染症、中耳炎、肺結核、C型慢性肝炎、HIV感染症、帯状疱疹、脳梗塞、パーキンソン病、てんかん、慢性頭痛（片頭痛、緊張型頭痛ほか）、統合失調症、大うつ病、アルツハイマー病、不眠、便秘、貧血、緑内障、骨粗鬆症、前立腺肥大症、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎

第2回日本アプライド・セラピューティクス学会学術大会において、6月11日午前10時-11時30分プレシンポジウム2でもご紹介する予定です。ご参加下さい。

#### SOAP マスターファイルの作成方法の参考資料

- 1) SOAP マスターファイルの作成方法は、学会誌「アプライド・セラピューティクス」2巻2号（2011）に掲載される予定です。
- 2) 会報『実践薬物治療』No.2、No.5（ホームページ会員専用に掲載）にワークショップの概要が、また、ホームページ「SOAP マスターファイル」には、ワークショップで作成されました高血圧症 SOAP マスターファイル、市中肺炎 SOAP マスターファイルが掲載されております。
- 3) 参考図書としては、我が国の疾患治療ガイドライン、アプライド・セラピューティクス1-4（じほう）を基本とし、ファーマコセラピー上・下（ブレーン出版）も有用と考えます。アプライド・セラピューティクスは、少し古くなっていますが、症例を読み進むに従い SOAP にまとめられるように編集されているため、マスターファイル作成の視点が学べます。